

会議状況等報告書							報告者	小野 裕弥			
会議の名称		令和6年度第3回大府市文化懇話会									
日 時		令和7年2月12日（水） 14時00分～15時15分						場所	市役所5階 委員会室1		
出席者	委員	安田 文吉	加藤 武志	伴恵	花井 里名	越後谷 卓司	張悦	山口 副市長			
		○	○	○	○	○	○	○			
	事務局	近藤 部長	田中 課長	細谷 係長	小野 主事	小高 主事	近藤 館長	内藤 館長	松井 館長	P&P 永吉	P&P 間瀬
		欠	○	○	○	欠	○	○	○	○	○
傍聴者 0名											
内容											
1. あいさつ ◆加藤武志座長あいさつ 今回は今年度3回目の開催となり、大府市文化芸術振興指針2030の策定、令和6年下半期事業実績、令和7年度事業計画についての3つの議題があると聞いている。これらについて意見交換をしていきたい。 ◆安田文吉先生あいさつ 多種多様な文化イベントを展開している自治体はあまり無い。大府は面積が広すぎず、小さすぎず、文化事業の実施に適している。この調子で今後も続けてもらいたい。 2. 議題 （1）大府市文化芸術振興指針2030の策定について ・資料No.1、別冊に基づき事務局から説明 〈大府市〉 ・委員の皆さんの意見を反映し作成をした。内容についてパブリックコメントにて意見を募ったが、結果として0件であった。本日の会議で承認をいただければ、今年度中に製本し関係各所への配布を予定している。なお、指針内の表現で、従前「バイオリンの里おおぶ」という表現があったが、バイオリン以外の音楽も盛んであるということから「音楽のまち・バイオリンの里おおぶ」と改めることとした。 〈質疑応答〉 委 員 ）パブリックコメントが0件の理由は何故か。周知不足なのか、単に関心がないだけなのか。 係 長 ）周知に関しては、市役所や公民館等で閲覧可能な状況にしており、市広報紙、市ウェブサイトに加え市公式 SNS 等によるプッシュ通知を行っているため、認知はされていると思われる。特に反対意見が出るような内容でもないため、一定のご納得はいただけたと捉えている。											

(2) 令和6年度下半期事業実績について

・資料No.2-1、2-2、2-3に基づき事務局・各施設から説明

〈質疑応答〉

- 委員) 全国的に音楽を習う方が減少する中で、音楽のまちとして、音楽を始めとした文化活動が実施されることは喜ばしいことである。最近、歩くことに興味をもつ方が多いと思う。先日開催された七福神イベントも参加者が増えたと聞く。おぶさんぽ 100 とはどのようなものか。
- 歴 民) メタバース上で歴史民俗資料館の館内を回り、スポット毎にキーワードが設置してあるため、それを組み合わせて答えを探すゲームである。スマートフォン等で使用できるため、気軽に歴史民俗資料館のことを知ってもらいたい。
- 委員) 鈴木政吉生誕祭を鑑賞した。新しい体系を交えず、鈴木政吉氏制作のバイオリンのみで演奏されており、音色の落ち着きや時代感がよく分かった。また、大府市はバイオリン以外にも、こどもの金管やクラシックなど様々な音楽の広がりがあるため「音楽のまち」という表現を加えていただけたのはよかった。
- 委員) アートオブリスト 2024 について、今年度は育み年であると思うが、その中で実施した常滑市へのボランティアバスツアーは、来年度の実施を見据えてのものか。また、参加人数は7人とあるが、どう捉えているか。
- 課 長) 地元の方に案内をしてもらい、来年度は自分たちがそれをやる立場であると自覚してもらうためのものである。参加人数としては、もう少し来てもよかったが、熱心な方が多いのでよかった。
- 委員) オーティズムアートについて、アールブリュットとどう区別しているか、なぜこの言葉を使うのか目的があれば教えていただきたい。
- 課 長) 岡崎市と大府市を会場として実施しているものである。市民美術展の審査委員である森岡完介先生も関心をもっていただいております、辻井先生の協力もあり展示している。

(3) 令和7年度事業計画について

・資料No.3に基づき事務局・各施設から説明

〈質疑応答〉

- 委員) 県民茶会の開催について、前回記録があまり残っておらず、茶道人口も減っているため準備が大変である。自身の市だけではなく、他市のイベントに参加するなどして繋がりを作っていくことも必要だと感じた。
- 委員) 日本の伝統、地域特有のバイオリン文化もそうだが、これから外国の文化も盛り上がるとよい。2月上旬に「国際交流デー」を開催し、各国の舞踊等を披露し、500名以上の方が参加した。国際交流の内容についても文化振興指針の中に組み込めるとよいと感じた。
- 副市長) 4月に副市長に就任し、これだけの事業を実施していることに驚いた。歴史民俗資料館、愛三文化会館、アローブそれぞれ様々な事業を実施いただき大変感謝している。市制55周年は「健康と音楽」をテーマに事業を実施していくが、音楽以外にも、韓国洪城郡と農業、スポーツ等いろいろな分野での交流を予定

しており、もりだくさんである。

委員) 愛知国際芸術祭と連携するとのことだが、来年度以降に民営化が予定されており連携が難しいかもしれないが、アートオブリストの事業は現代アートの関係者からも評価されているため、是非続けてほしい。

課長) ありがたい言葉をいただき感謝する。今後も継続していきたい。

委員) 数年前にあった事業で「点音」があったと思うが、復活等は検討されているか。

課長) 市内にも数か所軌跡があるが、製作者と議論し検討していきたい。

副市長) 障害のある方でも楽しめる機器として「サウンドハグ」という、色と振動で一緒に楽しめるものがある。新たな手法も取り入れたコンサート等も、今後実施検討中である。

3. その他

【次回開催連絡】

令和7年度第1回大府市文化懇話会

令和7年5月上旬

場所：大府市役所5階 委員会室1